

【2】日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)のご案内と投稿のお願い

1) 日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)では、未投稿の「原著論文」を受付けています。

迅速で公平な編集を心がけておりますので、ぜひ、みなさまの先端的な研究成果をご投稿ください。

投稿規定など、詳細はこちらをご覧ください。

<http://jasse.jsst.jp/>

2) 日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)の下記特集号の締切り延長のお知らせ

Special Section on “Semiconductor Device Simulation”

Special Section on “Simulation on Mechanical Engineering”

Special Section on “Visualization and Simulation Software”

<http://jasse.jsst.jp/cfp/>

に関して締切を1か月延長し、9月30日(火)までとなっております。

【3】イベントニュース, 人事公募情報一覧

[First announcement][主催]

・国際会議 AsiaSim & JSST 2014 について

今回のJSSTの年次大会は、北九州市で開催される国際会議

Asia Simulation Conference (AsiaSim)に続けて開催いたします。

>> <http://asc2014.jsst.jp/>

- AsiaSim 2014: 10月26日(日)~28日(火)

- JSST 2014: 10月29日(水)~30日(木)

場所: 北九州国際会議場

参加登録の期限は、9月30日です。

AsiaSim 2014 と JSST 2014 のどちらかだけでも参加可能です。

皆様、奮ってご参加ください。

皆様

統計数理研究所の共同研究集会の案内をお送りさせていただきます。

事前登録の必要はありません。統数研の公募型共同研究制度で行われる研究集会ですので、参加費は無料です。もう少しすると、来年度の公募が始まります。この制度については

<http://www.ism.ac.jp/kyodo/index.html>

をご覧ください。

田村義保
統計数理研究所
モデリング研究系 教授

2014年度 統計数理研究所共同研究集会

「ダイナミカルバイオインフォマティックスの展開 III」プログラム

日時：9月18日（木）、19日（金）

場所：統計数理研究所（立川市緑町10-3）第5セミナー室

9月18日（木）

12:00-12:40

清野健 阪大基礎工 動的生体情報の確率モデル

12:50-14:20（90分）

基調講演

芦原貴司 滋賀医科大学

In Silico による不整脈の病態解明と治療法の開発

14:40-15:20

飛松省三 九大医学研究院

ニューロリハビリテーションの基礎的研究：経頭蓋磁気刺激と経頭蓋交流電気刺

激の効果

15:30-16:10

三分一史和 統数研

統計値マップによるニューロン、アストロサイトの識別

16:20-17:00

岸田邦治 岐阜大名誉教授

ブラインド源分離とてんかん発作検出のための脳磁図解析

17:10-17:50

佐治量哉 玉川大学 乳児の睡眠紡錘波の出現頻度はランダムプロセスで記述できるか？

18:00-18:40

永井喜則 国土館大学

CA modeling of bird moving (Y. Nagai and Adrian Ankiewicz)

19:00- 意見交換会（会費制）

9月19日（金）

10:00-10:30

宮田孟 筑波大シス情

大局結合のある Morris-Lecar ニューロンモデルにおける Pragmatic Information の確率過程

10:40-11:10

角屋貴則 筑波大シス情

一般化ハイパーガンマ過程を用いた逆温度の分布と時間相関の同時定量化

11:20-12:00

新谷正嶺 早稲田大学

ナノ精度変位計測による細胞内サルコメアの集団自励振動特性の解析

基調講演 13:30-15:00 (90分)

鷲尾巧 東京大学 分子モータの協調性を有する確率的挙動と心臓の拍動を結

びつける取り組みとその臨床への応用について

15:20-15:50

戸次直明 早稲田大学

サルコメア長変動を記述する散逸力学系のホモクリニック軌道モデル

16:00-16:40

内山祐介 筑波大シス情

散逸場の特異点ダイナミクスにおける長期記憶効果

16:50-17:30

金野秀敏 筑波大シス情

心筋膜の心室細動状態に対応する特異点の生成消滅過程の数理と物理機構

特定非営利活動法人

横断型基幹科学技術研究団体連合（略称：横幹連合）

Transdisciplinary Federation of Science and Technology

事務局 池田 理香

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-35-28-303

公益社団法人 計測自動制御学会 事務局内

tel&fax： 03-3814-4130 e-mail： iked@trafst.jp

ホームページ： <http://www.trafst.jp/>

< 第 43 回横幹技術フォーラム >

日 時： 2014 年 10 月 10 日（金）13 時 30 分 - 17 時 00 分

会 場： 日本大学 経済学部 7 号館 2 階 講堂（最寄り駅：JR 水道橋駅 徒歩約 3 分）

主 催： 横幹技術協議会、横幹連合

参加費： 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。

当日資料代：1,000 円

（上記以外）一般 2,000 円（資料代込）

【テーマ】

経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察

【企画趣旨】

企業におけるリスクマネジメントを守りの経営と捉えるだけでなく、積極的な戦略を考えると上でリスクを分析することは経営高度化にとって重要なことと考え、社会の複雑化や多様化やグローバル化に対応できる経営高度化の仕組みやシステム、BCP（事業継続計画）を含むリスクマネジメントを企業経営に取り込みためのフレームワークや手法を横幹調査研究会として、事例となる企業を巻き込んで、2012年4月から2014年3月まで実行してきた。

本フォーラムでは、本研究会における成果を調査会の代表メンバーからプロジェクト経過とともに経営リスクマネジメントの考え方と手法について報告する。その上で、未来志向の統合報告書の分析による経営の高度化について議論する。

プログラムを添付します。

講演要旨、オンライン参加申し込みが揃いましたら、第2報でお知らせいたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

横断型基幹科学技術推進協議会（横幹技術協議会）

横幹技術フォーラム 事務局 池田理香

事務局 e-mail : office-kyg@trasti.jp

tel&fax : 03-3814-4130

[JST / JICA] 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）平成27年度研究提案募集開始（締切：10 / 27（月）正午）

独立行政法人 科学技術振興機構（JST）は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）において、平成27年度の研究提案を募集しています。

【募集期間】 平成26年9月11日（木）～平成26年10月27日（月）正午

【詳細情報】 <http://www.jst.go.jp/global/koubou.html>

本プログラムは、科学技術と外交を連携し、相互に発展させる

「科学技術外交」の強化の一環として、文部科学省・外務省の支援のもと、JST と独立行政法人 国際協力機構（JICA）が連携して実施するものです。開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、将来的な社会実装の構想を有する国際共同研究を政府開発援助（ODA）と連携して推進します。本プログラムでは地球規模課題の解決および科学技術水準の向上につながる新たな知見や技術を獲得することや、これらを通じたイノベーションの創出を目的としています。

また、その国際共同研究を通じて開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図ります。

■公募概要

* 応募要件：

日本国内の大学や研究機関、企業などに所属して、国際共同研究の研究代表者としての責務を果たし、最初から最後まで国際共同研究に従事できること。応募に際しては、JST への研究課題の応募とともに、相手国研究機関からも相手国 ODA 担当省庁を通じて日本の外務省に技術協力要請を所定の期限までに提出されることが必要です。

その他、責務等も記載していますので、公募要領をよく読んで応募してください。

* 対象分野：

環境・エネルギー / 生物資源 / 防災

（注）平成 26 年度公募までありました感染症分野の平成 27 年度公募については、平成 27 年度より独立行政法人 日本医療研究開発機構が設立されることを踏まえ、現在、体制が検討されているところです。

詳細については、決定次第、SATREPS のホームページ（上記【詳細情報】参照）にてご案内いたします。

“ただし、相手国から日本政府に提出される ODA 申請書の受付は、感染症分野も他の分野と同じく 10 月 27 日までとなりますので、ご注意ください。”

* 研究期間：

3 ~ 5 年間

* 予算規模：

1 課題あたり、1 億円程度 / 年

（内訳） JST：3,600 万円程度 JICA：6,000 万円上限

■公募説明会

以下のとおり公募説明会を実施します。

JST と JICA より、本プログラムの概要、公募に関するご案内、経費の枠組みなどについてご説明する予定です。

日時：平成 26 年 9 月 29 日（月） 午後 2 時～午後 4 時

会場：JST 東京本部別館 1 階ホール

（東京都千代田区五番町 7 K's 五番町）

地図：http://www.jst.go.jp/koutsu_map2.html

四番町の東京本部（サイエンスプラザ）ではありませんのでご注意ください。

事前登録は不要です。当日会場に直接お越しください。

■お問い合わせ先

独立行政法人 科学技術振興機構（JST）

国際科学技術部 地球規模課題協力グループ

e-mail：global@jst.go.jp

電話：03-5214-8085

担当：堀内、井上

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.464 ** 2014/9/12

■-----
防災・減災に関する国際研究のための東京会議 一般参加者受付開始・ポスター発表のアブストラクト締切迫る（ご案内）
-----■

【会議趣旨】第3回国連防災世界会議（平成27年3月仙台）の開催前に、同会議に参加する世界の指導者とトップクラスの研究者を招聘して、防災・減災と持続可能な開発の双方を達成する防災・減災科学技術のあり方を、第一（防災、環境、地球観測の連携）、第二（科学と社会の連携）、第三（分野間連携）の3つの観点から議論する。持続可能な開発を担保するために、政策・計画・プログラムのすべての面で持続的開発と災害軽減との密接な連携を実現させ、災害リスク軽減を実現する体制・

仕組み・人材を社会の各層において確立し、災害マネジメントサイクルのすべての局面において災害リスク軽減につながる新たな防災・減災科学技術の構築へ向けた提言を行う。

- 会期 平成 27 年 1 月 14 日(水)-16 日(金)
- 会場 東京大学 伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
(東京都文京区本郷 7-1-3)
- 主催機関 東京大学 伊藤国際学術研究センター・日本学術会議・国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)・災害リスク総合研究 (IRDR)
- 言語 英語及び日本語 (同時通訳あり)
- 定員 500 名
- 参加費 無料 (ただし懇親会は参加費 3000 円)

○東京会議の一般参加者の受付が開始されました。

参加には事前登録が必要になります。

参加をご希望される場合はお誘いあわせの上、下記アドレスより登録をお願い致します。

<http://monsoon.t.u-tokyo.ac.jp/AWCI/TokyoConf/jp/regist.htm>

○ポスター発表のアブストラクトの締切迫る (平成 26 年 9 月 30 日 (火) まで)

ポスター発表者は、東京会議二日目 (1 月 15 日) に以下の二つのセッションの両方に参加する必要があります。

何れのセッションも使用言語は英語です。

- ・ 二日目午前、ポスター口頭紹介セッション
(メインホールで全聴衆に対して一人 1 分程度で概要を発表していただきます)
- ・ 二日目夕方、ポスター発表セッション

(ポスター展示ホールで各自ポスターの前に立ち、個別にポスターの内容を説明していただきます)

ポスター発表をご希望の方は、下記の Web ページからご応募をお願い致します。
(入力フォームは英語のみとなります)

<http://monsoon.t.u-tokyo.ac.jp/AWCI/TokyoConf/jp/abstract.htm>

お問い合わせ先 日本学術会議事務局
国際業務担当室 03-3403-1949
佐藤・坂本・木之井・山田

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

■ 人事公募情報一覧

□ 新情報

[独立行政法人海洋研究開発機構国際ポストドクトラル研究員公募のお知らせ]

【応募締切】2014年11月5日(水) 必着

<http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140909.html>

□ 既存情報

[電気通信大学 知能機械工学専攻 教員公募のお知らせ] 准教授1名

応募締切 2014年10月14日(火) 午後5時(日本時間) 必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140723.html>

[独立行政法人海洋研究開発機構からの研究員もしくは技術研究員公募のお知らせ]

応募締切 2014年10月20日(月) 必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140828.html>

■ニュースレターの配信アドレスの変更、配信停止、各種お問い合わせ先

=====

- ・ 配信アドレスの変更および配信停止をご希望される場合には、題名をそれぞれ「アドレス変更」「配信不要」として、日本シミュレーション学会事務局 office@jsst.jp までご送信ください。
- ・ 各種お問い合わせおよび本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いいたします。
- ・ 貴学あるいは貴所で外部の方も参加できる講演会や催しが御座いましたら会員で共有したいと存じます。何かございましたら是非事務局に情報をお送り頂きますようお願いいたします。

ニュースレター配信依頼の原稿は、原則、月曜日の配信となります。

(なお、月曜日が祝日の際は、前後する場合がございますので、ご了承願います。)

・ -----

一般社団法人 日本シミュレーション学会
事務局

〒162-0808

東京都新宿区天神町 78

T E L : 03-3235-2150 / F A X : 03-3268-3057

e - m a i l : office@jsst.jp

ホームページ : <http://www.jsst.jp/j/>

-----•